

イトーヨーカドーのサステナビリティアクション

JGAP認証の啓発イベントを実施

～JGAP認証商品の魅力を伝える～

実施店舗：
イトーヨーカドー木場店

イトーヨーカドーのオリジナル商品「顔が見える食品。」(野菜、果物、畜産物、お米など)では、安全性確保や農場の適正な経営などを目指しGAP認証取得を推奨しており、生産地と生産履歴が担保された商品を販売しています。

セブン&アイグループの秋の環境月間の取り組みの一環として、9月23～24日にイトーヨーカドー木場店で、日本GAP協会様として初となる小売店店頭での「JGAP認証」の認知・啓発イベントを実施しました。当日は、JGAP認証取得の「顔が見える野菜。」を使用したメニューの試食や、売場内の商品に表示されているJGAPマークを探して答えるとJGAP認証取得の「顔が見える野菜。」をプレゼントする企画を実施し、JGAP認証商品の魅力を伝えました。お子様の参加が多く、笑顔で野菜を受け取っていた様子が印象的でした。イトーヨーカドーはこれからも、店頭でのイベントなどを通じ、食の安全・環境保全・労働環境に配慮したJGAP認証の認知向上に努めます。



啓発イベントの様子



JGAP認証取得の「顔が見える野菜。」を使用したメニュー提案